

仙台市博物館の特別展「仏画の力—東北 珠玉の仏教絵画—」には、中尊寺と静岡市立芹沢銈介美術館が所蔵する平泉の参詣曼荼羅（近世）各1点が展示されます。金色堂をはじめ、中尊寺や毛越寺などの数々の名所や、義経と弁慶も描かれ、「絵解き」に用いられていたと考えられています。見ていただだけでも楽しい参詣曼荼羅の展示にあわせ、歴史や絵画の研究者が集まって解説に挑戦する初めての試みです。

2026年

9.23

水祝

13:00~16:30 (終了予定)
※開場:12:30~

定員
200名
聴講料
無料

会場

仙台市博物館ホール

入場は先着順

※注意:駐車場には限りがございます。ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

プログラム

1. はじめに

- 展示解説: 寺澤慎吾 (仙台市博物館)
- 趣旨説明と総論: 堀裕 (東北大学)
「平泉参詣曼荼羅の読み方—構図・建物・物語—」

2. 描かれた物の探求

- 七海雅人 (東北学院大学)
「平泉参詣曼荼羅に描かれた中世石造物」
- 及川真紀 (奥州市教育委員会)
「白鳥館遺跡と中尊寺参詣曼荼羅」
- 八重樫忠郎 (平泉世界遺産ガイダンスセンター)
「考古学からみた参詣曼荼羅」

3. 源義経と弁慶

- 柳原敏昭 (東北大学)
「平泉伝説と参詣曼荼羅」
- 菊池勇夫 (宮城学院女子大学名誉教授)
「義経記から近世地誌へ—弁慶に着目して—」
- 達谷窟南都 (東北大学院生)
「近世平泉の寺社—毛越寺除地、義経堂管理に着目して—」

4. 絵画と信仰

- 杉本欣久 (東北大学)
「静岡市立芹沢銈介美術館所蔵の中尊寺参詣曼荼羅について」
- 佐々木徹 (仙台市博物館)
「平泉参詣曼荼羅と戦国期奥羽の参詣霊場」

5. おわりに

主催／平泉参詣曼荼羅研究会

共催／仙台市博物館、東北大学大学院文学研究科

後援／中尊寺 協力／静岡市立芹沢銈介美術館

本講演会は、第54回(2025年度)三菱財団人文科学研究助成をうけています

問い合わせ先 (メールでご連絡ください)

平泉参詣曼荼羅研究会事務局

東北大学大学院文学研究科内 堀裕研究室

✉ sankeimandara@gmail.com

特別展 「仏画の力—東北 珠玉の仏教絵画—」の案内

● 会期: 2026年9月18日(金)~11月8日(日) ● 会場: 仙台市博物館 (仙台市営地下鉄東西線 国際センター駅下車徒歩8分)
【休館日】毎週月曜日(9/21・10/12は開館)、9/24、11/4 ※10/13(火)は開館 【開館時間】9:00~16:45(入館は16:15まで)



弁慶堂

(図版の出典は右上図と同じ)

考える

平泉参詣曼荼羅を